映像/音声エラー検出装置・『ダビング/コピー』チェッカー VAD-220HD V/A ERROR DETECTION UNIT



Ver. 1. 0



	∧ ∧	ページ
1.	概要	1
2.	画面説明	2
2.	1 メイン画面	2
2.	2 設定値の選択	4
2.	3 設定値の設定・変更	6
2	. 3. 1 しきい値設定	8
2	. 3. 2 マスク値設定	.14
2.	4 台数設定	.17
2.	5 IP アドレス設定	.18
2.	6 映像キャプチャ関連画面	.19
2.	7 ログ保存設定	.22
2.	8 ログ表示設定	.23
2.	9 ログ検索	.24
2.	10 ログ削除	.26
2.	11 測定レベル参照	.27
2.	12 アラーム状態参照	.28
2.	13 しきい値参照	.29
2.	14 本体ステータス表示	.30
2.	15 システムログ参照	.31
2.	16 プレビュー表示	.32
2.	17 VAD バージョン参照	.33
2.	18 バージョン情報	.34
З.	映像キャプチャ(ソフトウェア	.35
з.	1 概要	.35
З.	2 操作説明	.36
4.	特記事項	.37
4.	1 インストールフォルダにあるファイルについて	.37

本書は「ダビング/コピー」チェッカー(以下、VAD-220HD)に添付されるソフトウェア(以下、管理ソフト)の取り扱いについて説明するものです。

管理ソフトは、VAD-220HDより通知される各種エラー情報のロギング、及び、VAD-220 HDに対する調整・設定を行う機能を持っています。



以下にシステム概要を示します。

2. 画面説明

2.1 メイン画面

ソフトウェアを起動した際に表示される画面です。 この画面ではエラー状況ログが表示されます。 左部のボタンから各種設定・調整メニューを選択できます。

	🔗 ダビング/コピーチェ	ッカー **VAD-220HD** Ver.1.0.0.0	8 (81
\cup	設定① ログ操作①	"情報参照(型) ブレビュー(M) ヘルブ(Y)	2
\bigcirc	設定値 編集	 4¹(4)² 9 5 6 	
3	HDCAM		
			5770312
	DV C AM		
	デジベタ		
	DVC proHD		
	初期値5		
	初期値6		
	初期値7		
	初期値8		
	初期値9		
	初期値10		

図2.1-1 メイン画面

- ① メニューバーより処理を選択します。
- ② ステータスバーに、VAD-220HDとの通信状況、管理ソフトの操作状況を表示します。
- ③ 設定値の設定および変更を行います。
 (詳細は「2.2設定値の選択」参照)
- ④ VAD-220HDのエラー検出「開始」「停止」状態を表します。
 ※管理ソフトからエラー検出「開始」「停止」を行うことも可能です。

- ⑤ エラーログの保存先フォルダを表示します。※エラー検出中は操作できません。
- ⑥ エラーログを印刷します。
- ⑦ エラー発生状況を逐次ログに蓄積します。
 ログ表示に使用する文言は一部「ログ表示設定」にて設定する事ができます。
 (詳細は「2.6 ログ表示設定」参照)
 また、映像比較エラーのログをダブルクリックすると、エラー画像の再生を行います。
 (詳細は「2.4 キャプチャ関連画面」参照)
 1) キャプチャファイル保存フォルダ
 - キャプチャした AVI ファイルを保存するフォルダは「C:¥AVI¥」です。 プログラム起動時に本フォルダが存在しない時は、自動的に作成します。
 - 2) キャプチャフレームサイズ <320*240>です。

※キャプチャを行わないシステム構成の場合、本操作は無効となります。

⑧ 🔀 をクリックすると以下の確認メッセージが表示されます。

	確認		\mathbf{X}
	2	終了してもよろしいですか? 終了する場合は「はい」をクリックしてください	1.
		(はいか) <u>いいえい</u>	
(tum	しをク	リックすると管理ソフトを終了し	ます。
) をク	リックすると終了処理を中止し、	本画面は

⑨ 設定値の選択を行います。

(詳細は「2.2設定値の選択」参照)

2.2 設定値の選択

本画面では、VAD-220HDへ設定するしきい値とエラー検出時のマスク値を選択します。 選択時にしきい値をVAD-220HDに設定します。 また、設定値を他のボタンにコピーすることができます。

① 設定値の選択

VAD-220HD へ設定したい、しきい値、マスク値が登録されているボタンをリストから選択 します。

- 1) VAD-220HD にしきい値を設定します。この時、「ステータスバー」に設定の成否が 表示されます。
- 2) エラー検出時のマスク値を更新します。
- 3) 選択した設定値が表示されます。

設定値 編集	🎸 VAD #1	設定値 編集	🧬 VAD #1
HD C AM	▶ ● ● HD CAM → HD CAM HD CAM DV CAM	 HD C AM	アジベタ アジベタ タイムコード 内容
DVCAM		DVCAM	
デジベタ	↑Л9月108 行別期值9 补刀期值10	デジベタ	

 設定値の設定及び、変更 設定値を設定・変更したいボタン上でマウスを右クリックします。
 ポップアップメニューが表示されますので「編集」をクリックします。

設定値 編集	🚰 VAD #1		設定値 編集	📌 VAD #1
HD C AM		N	HDCAM	
DV CAM			DV CAM	
デジベタ			テ <mark>編集(1) コピー(2) は</mark>	

「2.3設定値の設定・変更」画面が開きます。

③ 設定値のコピー

設定値をコピーしたいボタン上でマウスを右クリックします。

ポップアップメニューが表示されますので「コピー」→「コピー先のボタン名」をクリック します。



設定値と「設定名称」がそのままコピーされます。

「2.3 設定値の設定・変更」画面を開いて「設定名称」を変更してください。

2.3 設定値の設定・変更

設定		
 設定名称 しましい値設定 ・映像レベルレ ・音声レベル ・映像比較 ・比較対象 その他 マスク設定 ・メイン ・サブ ・比較/その他 2 	Ę.	
「デフォルト設定 読込」	3)	5 6 4 のK キャンセル 適用

本画面では、VAD-220HDのIPアドレス、設定するしきい値とエラー検出時のマスク値 を編集・設定します。

<u>図2.3-1 設定画面</u>

① 本画面の起動

「2.2 設定値の選択画面」にてボタン上で右クリックして表示されるポップアップ メニューから「編集」をクリックします。

② 設定画面の切り替え

「映像レベル」・・・「メイン」・・の各アイテムをクリックします。

③ デフォルト値の読み込み

デフォルト設定読込 ボタンをクリックします。 しきい値とマスク値が読み込んだデフォルト値に置き換わります。

④ 設定値の保存

適用ボタンをクリックしてください。※ 設定値に変更がない場合、ボタンは無効となります。

⑤ 設定値の保存と本画面の終了

OK ボタンをクリックします。

※ 設定値に変更がない場合、ボタンは無効となります。



※「設定値 選択ボックス」にて選択されている場合(左図)、設定値の保存時に VAD-220HD にしきい値を設定します。この時、「ステータスバー」に設定の成否が表示されます。また、エラー検出時のマスク値を更新します。

⑥ 本画面の終了

キャンセルボタンをクリックします。

** トラックバーの操作方法 **

2.3.1 しきい値設定

本設定の対象となる VAD-220HD に対するしきい値を設定します。

1. 映像レベル

映像レベルエラーを判断するしきい値を設定します。

「輝度レベル 最小値 8 3.64 % [最大値 246 5.00 %
- 色差レベル 最小値 8 3.56 %		最大値 246 2.67 %
	図2 3-2 しきい値設定画面(映像レベル)	

① 本画面の表示

左側のツリー表示より「しきい値設定」→「映像レベル」をクリックします。

② 設定値の編集

- 1) 輝度レベルエラー
 - a. 最大値

輝度レベルエラーを検知する最大値を<235>~<255>の範囲で設定します。 この値を超えると輝度レベルエラーとなります。

- b. 最小値
 輝度レベルエラーを検知する最小値<0>~<16>の範囲で設定します。
 この値を下回ると輝度レベルエラーとなります。
- 2) 色差レベルエラー
 - a. 最大値

色差レベルエラーを検知する最大値を<240>~<255>の範囲で設定します。 この値を超えると色差レベルエラーとなります。

b. 最小値 色差レベルエラーを検知する最小値を<0>~<16>の範囲で設定します。 この値を下回ると色差レベルエラーとなります。

2. 音声レベル

音声レベルの高/低エラーと音声比較エラーを判断するしきい値を設定します。

音声レベル	レエラー		最大値	
Ch1		-45 dB		-5 dB
Ch2		-45 dB	ŢŢ	-5 dB
Ch3		-45 dB		-5 dB
Ch4		-45 dB		-5 dB
Ch5		-45 dB		-5 dB
Ch6		-45 dB		-5 dB
Ch7		-45 dB		-5 dB
Ch8		-45 dB		-5 dB
音声比較	:フルスケールに対するレベル差一			
				-36 dB

図2.3-3 しきい値設定画面(音声レベル)

① 本画面の表示

左側のツリー表示より「しきい値設定」→「音声レベル」をクリックします。

2 設定値の編集

- 1) 音声レベルエラー
 - a. 最大値

音声レベルエラーを検知する最大値を<-50>~<0>(dB)の範囲で設定します。 この値を超えると音声レベルエラーとなります。

- b. 最小値 音声レベルエラーを検知する最小値を<-50>~<0>(dB)の範囲で設定します。 この値を下回ると音声レベルエラーとなります。
 - ※ 最小値 > 最大値となる設定はできません。
- 2) 音声比較エラー

フルスケール(-dBFS)に対するレベル差を<-40>~<-20>(dB)の範囲で設定 します。この値を基準に各スケール時のレベル差しきい値を判断し、しきい値を超えると 音声比較エラーとなります。 3. 映像比較

スルーOUT(録画元:以下メイン)映像と録画再生出力(録画先:以下サブ)映像の 比較エラーを判断するしきい値を設定します。

ブロックエラー ※ 映像比較は画面全体を96ブロックに分割し、そのブロック内にて比較エラーが発生すると1ブロック エラーと判断されます。						
検知感度	検知しやすい 🖓	<u>検知しにくい</u> 3				
輝度差		5 IRE				
エラー面積	2 %					
通知ブロック数 ※ エラーブロック数が本設定値を超えた時に通知が行われます。						
エラー検知しきい値	值 雁度差	エラー面括				
輝度エラー		1.5 IRE				
色差エラー		1.5 IRE				

図2.3-4 しきい値設定(映像比較)

- 本画面の表示
 左側のツリー表示より「しきい値設定」→「映像比較」をクリックします。
- 2 設定値の編集
 - 1) ブロックエラー

画面全体を96ブロックに分割した1ブロックを比較し、輝度エラーと判断するしきい値を 設定します。

a. 検知感度

映像比較のエラー検知感度を設定します。

4段階の設定があり、「3」が検知しやすい(厳しい)、「O」が検知しにくい(甘い)設定 となります。

b. 輝度差

1ブロックの比較エラーを検知する輝度差を<0>~<25>(IRE)の範囲で設定します。 設定単位は<0.5>(IRE)です。

c. エラー面積

1ブロックの比較エラーを検知する輝度エラーの面積を<O>~<5>(%)の範囲で設定します。

※ 1ブロック当たり輝度差のしきい値を超えた面積の割合が、エラー面積のしきい値を 超えるとブロックエラーとなります。 d. 通知ブロック数

「(2-1) ブロックエラー」を通知するエラーブロック数を<0>~<95>の範囲で設定 します。値を小さくすると検知しやすい(厳しい)設定となり、大きくすると検知しにくい (甘い)設定となります。

エラーブロック数が本しきい値を超えると映像比較エラーとなります。

2)輝度エラー

輝度比較エラーと判断するしきい値を設定します。

a. 輝度差

輝度比較エラーを検知する輝度差を<0>~<25>(IRE)の範囲で設定します。

- b. エラー面積
 輝度比較エラーを検知する輝度エラーの面積を<O>~<3>(%)の範囲で設定します。
- ※ 輝度差のしきい値を超えた面積の割合が、エラー面積のしきい値を超えると輝度エラー となります。
- 3) 色差エラー

色差比較エラーと判断するしきい値を設定します。

- a. 輝度差 色差比較エラーを検知する輝度差を<0>~<25>(IRE)の範囲で設定します。
- b. エラー面積
 色差比較エラーを検知する輝度エラーの面積を<0>~<3>(%)の範囲で設定します。
- ※ 輝度差のしきい値を超えた面積の割合が、エラー面積のしきい値を超えると色差エラー となります。

4. 比較対照

比較対照のフレーム遅延量と音声比較を行うチャンネルを設定します。

 比較対象フレーム遅延量 ※ コピー先の遅延量をここで設定するフレーム数の範囲内で自動調整します。 遅延量は最大5フレームの範囲で設定できますが、開始を「+1」以下に設定した場合 終了は「+2」を超えて設定できません。 開始 +1 ▼ フレーム 終了 +1 ▼ フレーム 				
-2 -1	0 +1 +2	+3 +4	+5 +6	(フレーム)
音声比較対象チャンネ	ル1			
⊙ チャンネル選択	ⓒ Ch1、Ch2 ○ -サブ	Ch3、Ch4 🔘	Ch5、Ch6	O Ch7, Ch8
○ ダウンミックス	⊙ Ch1, Ch2 O	Ch3、Ch4 🔘	Ch5, Ch6	O Ch7, Ch8
音声比較対象チャンネ	IV 2			
O Ch1, Ch2	💿 Ch3, Ch4	🔘 Ch5, Ch(6 🔘	Ch7、Ch8
O Ch1, Ch2	💽 Ch3, Ch4	🔿 Ch5, Ch	6 0	Ch7, Ch8

図2.3-5 しきい値設定(比較対照)

本画面の表示

左側のツリー表示より「しきい値設定」→「比較対象」をクリックします。

- 2 設定値の編集
 - 1)比較対象フレーム遅延量
 スルーOUT映像(録画元)と録画再生出力映像(録画先)のフレーム遅延量を 最大5フレームの範囲で設定します。
 VAD-220HDでは設定範囲内でフレーム遅延量の自動調整を行います。
 設定には、以下の2段階があります。
 a.開始を<+1>フレーム以下に設定した場合
 - 終了は<+2>フレーム以下で設定してください。
 - b. 開始を<+2>フレーム以上に設定した場合 終了は<+2>フレーム以上で設定してください。
 - ※ 開始 > 終了となる設定はできません。
 - 2) 音声比較対象チャンネル
 音声比較を行うチャンネルをメインとサブ、それぞれ設定します。
 ※「音声比較対象チャンネル1」にて「ダウンミックス」を選択した場合、
 「音声比較対象チャンネル2」ではメインとサブで異なるチャンネルは選択できません。

5. その他

HD-SDI入力時 VITC ▼ モニタ出力映像 ○ MAIN映像のみ ○ SUB映像のみ ○ SUB映像のみ ○ MAIN/SUB合成映像(エラーハイライト無) ○ MAIN/SUB合成映像(エラーハイライト有) ○ 差分表示(調整用) ○ プリフィルタ確認用 Traplこよる通知
モニタ出力映像 MAIN映像のみ SUB映像のみ MAIN/SUB合成映像(エラーハイライト無) MAIN/SUB合成映像(エラーハイライト有) 差分表示(調整用) ブリフィルタ確認用 Traplこよる通知
 MAIN映像のみ SUB映像のみ MAIN/SUB合成映像(エラーハイライト無) MAIN/SUB合成映像(エラーハイライト有) 差分表示(調整用) プリフィルタ確認用 Traplこよる通知
 SUB映像のみ MAIN/SUB合成映像(エラーハイライト無) MAIN/SUB合成映像(エラーハイライト有) 差分表示(調整用) プリフィルタ確認用 Traplcよる通知
 MAIN/SUB合成映像(エラーハイライト無) MAIN/SUB合成映像(エラーハイライト有) 差分表示(調整用) プリフィルタ確認用 Traplこよる通知
 MAIN/SUB合成映像(エラーハイライト有) 差分表示(調整用) プリフィルタ確認用 Traplこよる通知
 ○ 差分表示(調整用) ○ プリフィルタ確認用 TrapIこよる通知
○ プリフィルタ確認用 TrapIこよる通知
Traplこよる通知
Traplこよる通知を 行う 💌

図2.3-6 しきい値設定画面(その他)

本画面の表示

左側のツリー表示より「しきい値設定」→「その他」をクリックします。

- 2 設定値の編集
 - 1) タイムコード選択

HD-SDI 入力時のタイムコードを設定します。



2) モニタ出力映像

外部モニタに表示する映像を設定します。

3) Trap による通知

VAD-220HDからのエラー通知の有効/無効を設定します。

	\frown		
行う (~		
行わない 行う		をクリックし、	表示されるリストより選択してください。

※<行わない>に設定した場合は、全てのエラーが通知されません。

2.3.2 マスク値設定

本設定の対象となる VAD-220HD から発生したエラーに対するマスク値を設定します。 マスクとはある特定のエラーが実発生した際、設定したマスク値の秒数分だけ発報を遅らせ、 マスク時間が経過した後もアラームが持続していたら発報するという意味です。

1. メインエラーのマスク値設定

エラー種別	エラー詳細	時間(秒)
[Main]VITC	無音	10
[Main]タイミング	レベル低	11
[Main]CRC	レベル高	12
[Main]映像1	音声エンペデッド無	13
[Main]映像2	1kHz	14
[Main]音声ch1		
[Main]音声ch2		
[Main]音声ch3		
[Main]音声ch4		
[Main]音声ch5	וכתו	
[Main]音声ch6		
[Main]卒吉-lu7	(3	
[Main]百户CN7		
[Main]音声ch8		
[Main]音声ch7 [Main]音声ch8 [Main]音声ch1/ch2逆相		
[Main]音声ch7 [Main]音声ch8 [Main]音声ch1/ch2逆相 [Main]音声ch3/ch4逆相		
[Main]音声ch7 [Main]音声ch8 [Main]音声ch1/ch2逆相 [Main]音声ch3/ch4逆相 [Main]音声ch5/ch6逆相		
[Main]音声ch7 [Main]音声ch8 [Main]音声ch1/ch2逆相 [Main]音声ch3/ch4逆相 [Main]音声ch5/ch6逆相 [Main]音声ch7/ch8逆相		
[Main]音声ch7 [Main]音声ch8 [Main]音声ch1/ch2逆相 [Main]音声ch3/ch4逆相 [Main]音声ch5/ch6逆相 [Main]音声ch7/ch8逆相 [Main]VITC有無		

図2.3-7 マスク設定画面(メイン)

① 本画面の表示

左側のツリー表示より「マスク設定」→「メイン」をクリックします。

② マスク値の編集

マスク値を設定する「エラー種別」(左側)を選択します。 現在の設定値が「エラー詳細」(右側)に表示されます。 「エラー詳細」の「時間(秒)」欄をクリックすると編集モードとなります。 マスクする時間(秒)を入力します。

※「エラー詳細」が「通知有無」項目の場合、設定値<O>でエラー通知を行わない、 <1>でエラー通知を行う、となります。

エラー詳細	時間(秒)	通知有無対象エラー:VITC の有無、	VITC の状態
通知有無	1		

③ マスク値のコピー

メインエラーのマスク値をサブエラーのマスク値にコピーすることができます。 メインエラーのマスク値設定後 [サブ]ヘコピー ボタンをクリックしてください。 2. サブエラーのマスク値設定

エラー種別	エラー詳細	時間(秒)
[Sub] VITC	ブラック	5
[Sub] タイミング	フリーズ	6
[Sub] CRC		
[Sub] 映像1		
[Sub] 映像2		
[Sub] 音声ch1		
[Sub] 音声ch2		
[Sub] 音声ch3		
[Sub] 音声ch4		
[Sub] 音声ch5		
[Sub] 音声ch6		
[Sub] 音声ch7		
[Sub] 音声ch8		
[Sub] 音声ch1/ch2逆相		
[Sub] 音声ch3/ch4逆相		
[Sub] 音声ch5/ch6逆相		
[Sub] 音声ch7/ch8逆相		
[Sub] VITC有無		
SULL VITCHER		

図2.3-8 マスク設定画面(サブ)

① 本画面の表示

左側のツリー表示より「マスク設定」→「サブ」をクリックします。

② マスク値の編集

マスク値を設定する「エラー種別」(左側)を選択します。 現在の設定値が「エラー詳細」(右側)に表示されます。 「エラー詳細」の「時間(秒)」欄をクリックすると編集モードとなります。 マスクする時間(秒)を入力します。

※「エラー詳細」が「通知有無」項目の場合、設定値<O>でエラー通知を行わない、 <1>でエラー通知を行う、となります。

通知有無対象エラー: VITC の有無、VITC の状態

エラー詳細	時間(秒)
通知有無	1

3. 比較エラーのマスク値設定

エラー種別	エラー詳細	時間(秒)
[映像比較]VITC	通知有無	1
[映像比較]不一致ブロック数		
[映像比較]腪度比較エラー		
[映像比較]色差比較エラー		
[映像比較]遅延量測定値		
[音声比較]VITC		
音声chA比較エラー		
音声chA遅延量測定値		
音声chB比較エラー		
音声chB遅延量測定値		
 音声chC比較エラー		
音声chC遅延量測定値		
音声chD比較エラー		
音声chD遅延量測定値		
	_	
[TC比較]エラー	-	

図2.3-9 マスク設定画面(サブ)

① 本画面の表示

左側のツリー表示より「マスク設定」→「比較/その他」をクリックします。

② マスク値の編集

マスク値を設定する「エラー種別」(左側)を選択します。 現在の設定値が「エラー詳細」(右側)に表示されます。 「エラー詳細」の「時間(秒)」欄をクリックすると編集モードとなります。 通知有無を入力します。 設定値<0>でエラー通知を行わない、<1>でエラー通知を行う、となります。

2. 4 台数設定

本画面では、本ソフトで管理を行う VAD-220HD の台数を設定します。

システム情報設定
VAD台数 1 💌
OK キャンセル

- 本画面の起動
 メニューバーの「設定」→「システム設定」→「VAD 台数設定」をクリックします。
- ② VAD 台数の設定
 VAD の台数をリストより選択します。
- ③ 設定内容の保存とキャンセル
 設定が終了しましたら OK ボタンをクリックして下さい。
 設定を中止する場合は キャンセル ボタンをクリックして下さい。

2.5 IP アドレス設定

本画面では VAD-220HD の IP アドレスとコミュニティ名称を設定します。

VAD	IPアドレス設定		
	名称	IPアドレス	<u> ವನ್ನದರ್ಧ ()</u>
	VAD #1	192.168.200.254	public
	VAD #2		
1			
		ſ	
		l	

図2.5-1 VAD IPアドレス設定

① 本画面の表示

メニューバーの「設定」→「システム設定」→「VAD-IP アドレス設定」をクリックします。

② 設定値の編集

「IP アドレス」欄「コミュニティ」欄をダブルクリックし、編集モードにしてから行って ください。

③ 設定内容の保存とキャンセル

設定が終了しましたら
OK
ボタンをクリックして下さい。
設定を中止する場合は
キャンセル
ボタンをクリックして下さい。

映像比較エラー発生時に保存した映像キャプチャファイルを再生します。 ※ キャプチャを行わないシステム構成の場合、本画面は表示されません。

	✓ 再生	
	BAR HALL	
		=
	NER DETE	
		And the second s
		00:02
	停止 (学)	00:02
		00:02
2	 停止 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	00:02 つ:00 こ デ (サムネイル) (閉じる)

① 本画面の起動

「メイン画面」の映像比較エラーのログ行をダブルクリックします。 再生ファイルが存在しない場合は、その旨ダイアログが表示されます。

- 2 本画面の操作
 - 1) 再生速度の設定
 - a. 遅く … 再生時のスピードを遅くする。
 - b. 早く … 再生時のスピードを速くする。
 - c. 通常 … 再生時のスピードを通常にする。
 - 2) 1フレーム毎に表示

1コマ表示 ボタンをクリックします。

再生中のキャプチャファイルの先頭からコマ送りに画像を確認できます。

3) サムネイル表示

サムネイル サムネイルボタンをクリックします。 再生中のキャプチャファイルを 60 フレーム表示します。

- ③ 本画面の表示情報
 キャプチャファイルのフレームサイズ、再生時間を表示します。
- ③ 本画面の終了

閉じる ボタンをクリックしてください。

1.1コマ表示



図2.6-2 キャプチャファイルの再生(コマ送り)

- ① 本画面の操作
 - a. コマ戻し 画面中央より左側をクリックします。
 - b. コマ送り画面中央より右側をクリックします。
- ② 本画面の終了



2. サムネイル表示

(
K'X		K'A		- 83	KA	- 83	- R'R	- K' 21	- K 12
	NC 3N	NC 3N	A CR	£13	KC:38	10°07	-10°01-	- E .H-	- 1 23
610 1 -1	-11-11-	-RR -	TALIA	- K . 38-	- 72'27 -		-12:27-	- גיא -	- A 15
	* 6 .37 **	- R IR -	- a:a -	я:з	л:т	ЯС' Л	л::л	л:л	5 23
<u>E.24</u>	52 23	л:л	AL'IN	ACTOR	ALTA.	л::л	л: л	R'IR	5 23
C.	5. '33	R.M.	R'3	л:л	a a	ALC: A	52 133	ALL'AR	5 13

図2.6-3 キャプチャファイルの再生(サムネイル)

- ① 本画面の操作
- 1) 1フレームを拡大表示 拡大したいフレームをクリックします。
 「1コマ表示」画面が表示されます。
- 2) 表示切替

表示サイズの切り替えが可能です。

メニューバーの「表示切替」をクリックします。

※表示サイズによって以下の解像度より低い画面は、表示をはみ出します。

- [小]:SVGA(800×600 ドット)
- [中]:XGA(1024×768 ドット)
- [大]:SXGA(1280×1024 ドット)
- ② 本画面の終了

メニューバーの「表示」→「閉じる」をクリックするか、ESC キーを押します。

2.7 ログ保存設定

本画面ではログの保存可否と保存先を設定します。

※エラー検出中は操作できません。

ログ設定
▼ログをファイルに保存する
保存フォルダ C:¥Documents and Settings 選択
OK キャンセル
図2.7-1 ログ保存設定

- 本画面の起動
 メニューバーの「設定」→「ログ設定」→「ログ保存設定」をクリックします。
- ② ログ保存設定
 ログを保存する場合は、「ログをファイルに保存する」にチェックを付けてください。
 保存フォルダの選択は選択 ボタンをクリックすると、フォルダ選択ダイアログが表示されます。対象のフォルダを選択してください。
- ③ 設定内容の保存とキャンセル
 設定が終了しましたら

 OK
 ボタンをクリックして下さい。

 設定を中止する場合は

 キャンセル
 ボタンをクリックして下さい。
- ④ ログ保存先フォルダの表示
 「メイン画面」の「保存先表示」アイコン きをクリックします。
 <u>VAD 番号_月日_時分秒.csv</u>のログファイル一覧が表示されます。
 ログファイル名の日時は、エラー検出開始時間となっています。

2.8 ログ表示設定

本画面ではエラー発生時にログに表示する文言を設定します。

ログに表示される文言は一部、本設定外の文言が固定で付加されることがあります。

び表示語言						
名称	项目1	項目2	项目3	-	アラームログ表示	· 很定
D-rc-AVITO					項目名	表示文字列
しインタイミング	52501だなりました	108011つなりました			SH AVITO	
24(2)0R0	and the state of the second	China There and	onaio cettittina 👼			
メイン(映像)		(March 27	(Mar) 70-7 84		0	
メイン映像2		《Main》 課題レベルエラ・	(Main) 色変レベルエラー		-	_
ンイン]音声chī		CHINE COMPLETE	Offinio TehL>OL低 発		-	
メイン月音声ch2		Man Sales B. Tat	(March Zohl, KIDIK, SP.		-	
メイン)音声ch3		1000 100 B	《Main》 3eht-Silvite 異			
シイン)音声ch4		CHINA AND REAL	Odairio 4chL->ULI信 角			WW6 49412(#1)
メインI音声ch5		Mana and Will Think	《Mand Schler3010版 第			(1+04000
メイン)音声ch6		「おいか」ない書簡 単二	(Main) finit-公D/唐 異			
シイン)音声ch7		Chinal Total and	Offinio 7diL-POLICE 発			
又不习音声ch8		Man Links 19.9	《March SchlumADDR 新			
メイン)音声ch1/ch2速相		(Main) lah/Pahi里種 男				
ンイン]音声ch3/ch4送相		(Mairi) 3ch/4ch12(8 3				
メイン]音声ch5/ch6逆相		(Man) Sch/Schilletti S				
メイン)音声ch7/ch8速相	and the second second second	(Main) TahySeiti里相 男				
MUNTC有無	Main/VITCR/UP7	OMainO VITOSEL TO # 11				
メイン引い口の状態		Mano VITO#X#812 TO				
サラJVITC	A CONTRACTOR OF	and the second se				
サブリタイミング	5251しなりました	10001になりました				
サラ]OR0		HARD THERE IT- THE	San Haven and -	~		
C	30	W/	>			
						閉じる

図2.8-1 ログ表示設定画面

① 本画面の起動

メニューバーの「設定」→「ログ設定」→「ログ表示設定」をクリックします。

- ② 変更の方法
 - ・左側項目欄の該当行をクリックで選択します。
 - ・右側項目の表示文字列欄をダブルクリックし、編集モードにし、編集します。
 - ・色の変更は右側表示文字列欄をクリックしたうえで右クリックし、ポップアップメニュー

から文字色変更図を選択します。

・編集・変更が終了しましたら、必ず 更新 をクリックします。

③ 本画面の終了

2.9 ログ検索

本画面ではログ抽出のための条件設定を行います。

ログ検索
検索ログ選択 HD CAM(VAD #1) 🗸
検索条件設定(AND条件となります)
□検索日時指定 開始 2008/03/17 12:54:42 🔆 終了 2008/03/17 13:00:18 🗧
□ キーワード(内容)指定
検索開始 キャンセル

① 本画面の起動

メニューバーの「ログ操作」→「ログ検索」をクリックします。

- ② 検索条件の指定
- 1)検索ログ選択

検索するログの種類をリストより選択します。

a. エラーログを検索

「2.2 設定値の選択」画面にて選択した設定名称を選択します。

- b. システムログ(システム情報)を検索 「システムログ」を選択します。
- 2) 検索条件の指定

以下の条件指定が可能です。条件指定を行う場合は、各条件項目にチェックを付けてください。 チェックが付いていないと、条件指定は無効となります。

a. 検索日時指定

「開始」「終了」に検索したい日時を入力します。

b. キーワード(内容)指定

ログの「内容」欄に含まれる任意の文字を入力します。

③ 検索結果の表示と保存

検索開始	- ボタンをクリックしてください。「ログ検索結果」画面が表示される	ます。	
💞 ログ検索結	果 [DV CAM(VAD #1):2008/03/17 13:40:05 ~ 2008/03/17 13:48:38] 63件		X
ファイル(Z)			
タイムコード	内容	リアルタイム	^
	チェックを(手動)開始しました [DV CAM]	13:40:06	
99;99;99;99	<main> 525i になりました</main>	13:40:06	
99;99;99;99	<main>VITCなしです</main>	13:40:06	
99;99;99;99	KSub> 525i ICなりました	13:40:06	
99;99;99;99	KSub>VITCなしです	13:40:06	
99;99;99;99	〈映像比較〉 位相変化 発生 しました 同位相]	13:40:06	
99;99;99;99	<cha> 位相変化 発生 しました 同位相]</cha>	13:40:06	
99;99;99;99	<chb> 位相変化 発生 しました 同位相]</chb>	13:40:06	
99;99;99;99	<ch0> 位相変化 発生 しました[2フレーム遅れ]</ch0>	13:40:06	
99;99;99;99	<main>1chレベル高 発生 です [タイムコード (99,99,99,99)]</main>	13:40:18	
99;99;99;99	_{1chレベル高 発生 です (2イムコード (99,99,99)]}	13:40:18	
99;99;99;99	<main> 2chレベル高 発生 です [タイムコード (99,99,99,99)]</main>	13:40:23	
99;99;99;99	_{2chレベル高 発生 です [タイムコード (99;99;99:)9)]}	13:40:23	
99;99;99;99	<main> 3ch無音 発生 です[5イムコード 09,99,99,99]]</main>	13:40:26	
99;99;99;99	_{3ch無音 発生 です[5イムコード 09,99,99,99]]}	13:40:26	
99;99;99;99	<main> 4ch無音 発生 です [タイムコード 099,99,9999)]</main>	13:40:30	
			×

「ファイル」メニュー → 「保存」をクリックすると、ログ検索結果を保存できます。 「ファイル」メニュー → 「終了」をクリックすると、本画面を終了します。

④ ログ検索の中止

キャンセルボタンをクリックします。

2.10 ログ削除

本機能では、取得したログデータを削除します。 本機能に画面は存在しません。

① エラーログの削除

メニューバーの「ログ操作」→「ログ削除」→「アラームログ」をクリックします。 ※エラーログの削除は、データベース上のデータが削除されるのみで、保存したCSV ファイルは削除しません。

② システムログの削除
 メニューバーの「ログ操作」→「ログ削除」→「システムログ」をクリックします。

2.11 測定レベル参照

創定レベル 参照		×
再せた行うバムロを避知 マイゼネッ		
要求2110×AD2/基MG (1/201)		
HD CAM(VAD #1)	要求美们	
名称	値	
[Main]輝度レベル最大値		
[Main]輝度レベル最小値		
[Main]色差レベル最大値		
[Main]色差レベル最小値		
[Main]音声Ch1レベル		
[Main]音声Ch2レベル		
[Main]音声Ch3レベル		
[Main]音声Ch4レベル		
[Main]音声Ch5レベル		
[Main]音声Ch6レベル		
[Main]音声Ch7レベル		
[Main]音声Ch8レベル		
[Sub] 輝度レベル最大値		
[Sub] 輝度レベル最小値		
[Sub] 色差レベル最大値		
[Sub] 色差レベル最小値		
[Sub] 音声Ch1レベル		
[Sub] 音声Ch2レベル		
[Sub] 音声Ch3レベル		
[Sub] 音声Ch4レベル		
[Sub] 音声Ch5レベル		
[Sub] 音声Ch6レベル		
[Sub] 音声Ch7レベル		
[Sub] 音声Ch8レベル		
	閉じる	

本画面では、VAD-220HDの測定レベルを取得・表示します。

① 本画面の起動

メニューバーの「情報参照」→「測定レベル参照」をクリックします。

- 2 測定レベルの取得・表示
 要求実行 ボタンをクリックします。
- ③ 本画面の終了

2.12 アラーム状態参照

本画面では、VAD-220HDのアラーム状態を取得・表示します。

要求を行う\/ADを選択してく	(ださい)	
HD CAM(VAD #1)	▼ 要求実行	
名称		
[Main]VITC		- T
[Main]タイミング		
[Main]CRC		
[Main]映像1		
[Main]映像2		
[Main]音声ch1		
[Main]音声ch2		
[Main]音声ch3		
[Main]音声ch4		
[Main]音声ch5		
[Main]音声ch6		
[Main]音声ch7		
[Main]音声ch8		_
[Main]音声ch1/ch2逆相		_
[Main]音声ch3/ch4逆相		_
[Main]音声ch5/ch6逆相		_
[Main]音声ch7/ch8逆相		
[Main]VITC有無		
[Main]VITC状態		
[Sub] VITC		
[Sub] タイミング		
[Sub] CRC		_
[Sub] 映像1		
[Sub] 映像2		_
[Sub] 音声ch1		_
[Sub] 音声ch2		_
[Sub] 音声ch3		_
[[Sub] 首声ch4		_
[Sub] 首戸Ch5		_
[Sub] 首戸Chb [Sub] 安吉-1-2		
		

図2.12-1 アラーム状態参照画面

① 本画面の起動

メニューバーの「情報参照」→「アラーム状態参照」をクリックします。

- アラーム状態の取得・表示
 要求実行 ボタンをクリックします。
- ③ 本画面の終了

2.13 しきい値参照

本画面では、VAD-220HDのしきい値を取得・表示します。

同学派	
現水を行うVADを選択し(くたろい) HD CAM	(VAD #1) Y 医水美门
項目名称 値	[備考
[映像レベル] 輝度最大しきい値	
[映像レベル] 輝度最小しきい値	
[映像レベル] 色差最大しきい値	
[映像レベル] 色差最小しきい値	
[音声レベル] Ch1最大しきい値	
[音声レベル] Ch1最小しきい値	
[音声レベル] Ch2最大しきい値	
[音声レベル] Ch2最小しきい値	
[音声レベル] Ch3最大しきい値	
音声レベル] Ch3最小しきい値	
音声レベル] Ch4最大しきい値	
音声レベル」 Ch4最小しきい 値	
音声レベル」Ch5最大しさい他	
音声レベル」Ch5最小しざい他	
音声レベル」Ch5歳大しさい他	
音声レベル」した最小しきい他	
「音声レヘル」 いってあってきい 旭	
比較対路フレーム遅延量(関始)	
比較対昭フレーム遅延量(終了)	
映像比較] 検知感度	3:検知しやすい・・・ 0:検知しにくい
映像比較] ブロックエラー検知(輝度差)	
映像比較] ブロックエラー検知(面積)	
映像比較] エラー通知ブロック数しきい値	0:厳しい・・・ 95:甘い
映像比較] 輝度エラー検知(輝度差)	
映像比較] 輝度エラー検知(面積)	
[映像比較] 色差エラー検知(輝度差)	
[映像比較] 色差エラー検知(面積)	
[音声比較] 対象チャンネル①	
[音声比較]対象チャンネル②	
[音声比較] フルスケールに対するレベル差	
モニタ出力映像選択	
traplこよるエラー通知	

図2.13-1 しきい値参照画面

① 本画面の起動

メニューバーの「情報参照」→「しきい値参照」をクリックします。

② しきい値の取得・表示

要求実行 ボタンをクリックします。

「値」欄には設定実値を、「備考」欄には設定内容を表示します。

③ 本画面の終了

2.14 本体ステータス表示

本画面は、VAD-220HD のフロントパネルにあるステータス表示 LED と同じ表示を行います。



図2.14-1 本体ステータス表示画面

① 本画面の起動

メニューバーの「情報参照」→「本体ステータス表示」をクリックします。

本画面の終了
 をクリックします。

2.15 システムログ参照

本画面では、システムログの参照を行います。

🔗 システムログ参照		
日付時刻	内容	^
2008/03/17 13:50:06	時刻設定が正常終了しました [DV CAM(VAD #1)]	
2008/03/17 13:55:06	時刻設定が正常終了しました [DV CAM(VAD #1)]	
2008/03/17 14:00:06	時刻設定が正常終了しました [DV CAM(VAD #1)]	
2008/03/17 14:05:06	時刻設定が正常終了しました [DV CAM(VAD #1)]	
2008/03/17 14:10:06	時刻設定が正常終了しました [DV CAM(VAD #1)]	
2008/03/17 14:13:27	しきい/値設定が正常終了しました [HD CAM(VAD #1)]	
2008/03/17 14:15:06	時刻設定が正常終了しました [HD CAM(VAD #1)]	
2008/03/17 14:20:06	時刻設定が正常終了しました [HD CAM(VAD #1)]	
2008/03/17 14:21:37	設定値が変更されました。[HD CAM]	
2008/03/17 14:21:39	しきい/値設定が正常終了しました [HD CAM(VAD #1)]	
2008/03/17 14:21:43	設定値が変更されました。[HD CAM]	
2008/03/17 14:21:45	しきい/値設定が正常終了しました [HD CAM(VAD #1)]	
2008/03/17 14:21:54	設定値が変更されました。[HD CAM]	
2008/03/17 14:21:56	Lきい値設定が正常終了しました [HD CAM(VAD #1)]	
2008/03/17 14:25:06	時刻設定が正常終了しました [HD CAM(VAD #1)]	
2008/03/17 14:30:06	時刻設定が正常終了しました [HD CAM(VAD #1)]	
2008/03/17 14:35:06	時刻設定が正常終了しました [HD CAM(VAD #1)]	
2008/03/17 14:40:06	i時刻設定が正常終了しました [HD CAM(VAD #1)]	-

図2.15-1 システムログ参照画面

① 本画面の起動

メニューバーの「情報参照」→「システムログ参照」をクリックします。

2 本画面の終了
 区 をクリックします。

2.16 プレビュー表示

本画面では、映像のプレビュー表示を行います。



図2.16-1 プレビュー画面

① 本画面の起動

メニューバーの「プレビュー」→「プレビュー表示」をクリックします。 「プレビュー表示」メニューにチェックが付きます。

↓プレビュー表示(Z)

② 本画面の終了

メニューバーの「プレビュー」→「プレビュー表示」をクリックします。 「プレビュー表示」メニューのチェックが消えます。

ブレビュー表示(乙)

2.17 VAD バージョン参照

本画面では、VAD-220HDのバージョン情報を表示します。

VADバージョンチェック			
VADバージョン 確認を行うVAE	チェック)を選択してください HD	CAM(VAD #1)	▼ 確認
	項目 ファームウェアVer ハードウェアVer SNMPファームVer	バージョン	
			開じる

図2.17-1 VAD バージョン参照画面

① 本画面の起動

メニューバーの「ヘルプ」→「VAD バージョン」をクリックします。

- 2 VAD バージョン情報の取得・表示
 確認 ボタンをクリックします。
- ③ 本画面の終了

2.18 バージョン情報

本画面では、管理ソフトのバージョン情報を表示します。



図2.18-1 バージョン情報画面

- 本画面の起動
 メニューバーの「ヘルプ」→「バージョン」をクリックします。
- 2 本画面の終了 本画面をクリックします。

3. 映像キャプチャ ソフトウェア

3.1 概要

映像キャプチャソフトウェア(以下、キャプチャソフト)は、エラー発生時刻を元に 映像比較エラー時の映像をキャプチャするソフトウェアです。 映像ソースは USB デバイスより常時供給され、これをフレーム毎にメモリ上でバッファ リングを行っています。

① キャプチャファイル情報

保存先フォルダ	C:¥AVI	
ファイル名	エラー発生時刻(yymmddhhmmss).avi	
フレームサイズ	320 x 240	
	表3.1-1 キャプチャファイル情報	

2 推奨動作環境

インタフェース	キャプチャデバイスとのインタフェース USB2.0
OS	Windows XP SP2
CPU	Pentium4 1.6GHz 以上
RAM	1GByte 以上
HDD	回転速度 7200rpm 以上
ディスプレイ	XGA(1024*768)以上
内部 I/F	管理運用ソフトウェアとのインタフェース ローカル UDP を使用

<u>表3.1-2 推奨動作環境</u>

3.2 操作説明

以下、キャプチャソフトの操作について説明します。 ※キャプチャを行わないシステム構成の場合、本操作は無効となります。

キャプチャソフトの起動
 管理ソフトを起動すると、同時にキャプチャソフトも起動されます。
 正常に起動すると、タスクトレイにアイコンが表示されます。



- 2 キャプチャソフトの終了
 管理ソフトを終了すると、同時にキャプチャソフトも終了します。
- ③ キャプチャソフトのエラー
- 1) USBデバイスがPCに接続されていない場合 キャプチャソフト起動時、USBデバイスが管理ソフトの動作するPCに接続されていない

場合、図3.2-1のバルーンヘルプを表示し、プログラムは終了します。



2) USBデバイスが取り外された場合

キャプチャソフト起動中に、USBデバイスが取り外された場合、 図3.4.2のバルーンヘルプを表示し、プログラムを終了します。



※注意: USBデバイスを取り外す場合は、管理ソフトを「検知停止」にしてから

行ってください。

4. 特記事項

4.1 インストールフォルダにあるファイルについて

インストールフォルダにあるファイルは管理ソフトで使用している重要なファイルです。 手動で編集、変更する事はお控えください。

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品に ついてのアフターサービスは、お買い 上げの販売店におたずねください。 なお、販売店が不明の場合は弊社へお 手数でもご連絡ください。

故障・	保守サービスのお問い合わせは
販売店:	
TEL	
担当	

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

₹959-0214

新潟県燕市吉田町法花堂1974-1

TEL:0256-93-5035

FAX:0256-93-5038